

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和2年 1月31日

事業所名 ガーデンキッズトリア

保護者等数(児童数)29 回収数 24 割合 82%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	5	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に屋外遊びもあり、充実している。 ・屋外の活動がもっとあると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境上、園庭を設置することは難しいですが、屋外遊びで近隣の公園やマルヤガーデンズ内にある「ソラニワ」に出かける等、広い場所でも活動を行える様に工夫しています。 ・室内をアコーディオンカーテンを使用して2つに区切り、机上での活動を行う部屋と身体を動かす活動の部屋に分けながら活動を実施しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	20	2	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・帰りに説明の際に、見ていない職員に言われてもわかりづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員数の配置基準は充分満たしています。公認心理師、言語聴覚士、理学療法士等の専門職も配置し、専門的な立場からの助言も参考にしながら子どもたちへの支援を行っています。 ・可能な限り、お子さまの活動を担当した職員で内容やお子さまの様子についてお伝えしています。保護者の方をお待たせさせることもある為、活動を担当していない職員が内容の説明をさせていただくこともございます。活動の内容を担当よりお聞きしたい際は、引き継ぎ職員へその旨をお伝えください。帰園後に担当より、電話連絡させていただきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	18	5	0	1		<ul style="list-style-type: none"> ・建物の構造上、階段の高さや手すりの位置などの配慮が難しいこともあります。よりよい環境になるよう職員間で環境改善案を定期的に取り上げ、改善する様にしています。室内の環境や活動の様子を見学することも可能です。お気軽に職員へお申し出ください。

4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	20	1	0	3	・トイレがきれいにしてあり、スムーズにトイレトレーニングができた。	・清潔な環境でお子さまが心地よく過ごせるよう療育前後の清掃や消毒等の環境整備、環境改善に努めています。室内の様子を見学することも可能ですので、お気軽に職員へお申し出ください。
5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	23	1	0	0		・定期的に保護者より記入して頂いたアセスメントシートや聞き取り等で得られたニーズや課題、お子さまの状態像を把握して、客観的に分析した個別支援計画を作成するよう努めています。
6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	23	1	0	0		・個別支援計画に発達支援、家族支援、地域支援の項目を設定し、具体的な支援内容(場面、支援方法、頻度等)を計画し作成しています。発達支援については、適切にアセスメントを行い、発達段階に合わせた支援内容になるよう努めています。家族支援、地域支援については、家庭や幼稚園、保育園等での様子を確認し、地域の中で安心して過ごすことを目指した支援内容となるよう努めています。お子さまの支援に必要な児童発達支援ガイドラインの項目も表記し、提供する支援内容が具体的に分かりやすくなるよう努めています。

適切な支援の提供	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	23	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画書作成後は保護者に説明を十分に行い、同意を得た上で、写しをお渡ししています。説明後でも内容の変更は可能ですので、ご不明な点や変更の希望がありましたら職員へお知らせ下さい。また、支援開始途中に支援内容、課題の追加を希望される場合も、聞き取りを行い、客観的に分析し、内容の見直しも行いますのでお気軽にお申し出下さい。 ・事前にミーティングを行い、活動の流れや支援内容の確認、役割分担について打ち合わせを行っています。個別に支援する内容については、専門職の意見を取り入れながら、職員間で共通理解し、統一した支援ができるよう、情報共有に努めています。
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	21	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・運動、認知・課題、音楽、絵画、ルール、感触、屋外、手指等の活動において利用曜日での偏りが少なくなるよう年間、月間で活動予定を立案し、実施しています。活動内容については、おたよりにてお知らせしています。 ・月間で同じ活動が重なる場合もありますが、同じ活動を繰り返すことで見通しをもって安心して活動に取り組み、様々なスキルを習得できるようなねらいを設定し、立案しています。また、お子さまの状態像に合わせて、同じ活動内容でも変化を加える等、固定化されないように工夫しています。 ・夏祭りごっこやクリスマス会、発表会ごっこ等、季節に合ったプログラムも定期的実施しています。

9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	5	3	8	・幼稚園に行き始めたばかりで、よくわからない。 ・事業所にて障害のないお子さまと活動する機会はありませんが、併行通園をしているお子さまは障害のないお子さまとも関わる機会があります。 ・マルヤガーデンズとの共同企画としてハロウィンイベントを開催する等、地域社会の中で、活動する機会を設けています。
10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	0	0	2	・利用前の見学や契約の際に運営規程、施設概要、サービス内容、活動プログラム、利用料について、ご説明しています。また、質問等をいただいた際はその都度返答を行っておりますので、お気軽に質問してください。
11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	23	0	0	1	・個別支援計画書の内容については、十分な説明を行い、同意を得た上で支援を実施しています。
12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	15	5	0	4	・昨年度参加しました。充実した内容でまた参加したい。 ・参加した際に、とてもわかりやすく、前向きな気持ちで子どもと接するようになった。可能であれば、開催回数を増やしてもらえると嬉しい。 ・アドバイスが少し自宅でもやっていることだったりする。 ・ペアレント・プログラムを今年度は2回実施しており、すべての保護者にご案内をしています。今後も実施する際は、お知らせを致しますので、ご参加をお待ちしています。
13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	20	4	0	0	・今後も、活動内容やお子さまの様子など丁寧な説明に努めていきたいと思っております。不明点やご要望等がある際は、職員へお知らせください。
14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	4	0	0	・身体が不自由になり、職員と話をする機会が減った中で、状況に応じて面談を設定してもらいありがたい。 ・毎年5月頃に年長児の保護者全員との就学前個別相談、9月頃に個別相談を実施し、子育てに関する悩み事やご要望等について話をする機会を設けています。また、期間以外でも個別に相談されたい内容がありましたら、ご要望に応じて、日程を調整して実施させていただきますので、お知らせください。

保護者への説明等	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13	6	0	5	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回の懇親会しかないので、保護者同士での話し合いがあると嬉しい。 ・平日での保護者会はいけない場合があるので、土曜日実施も考えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会は年2回実施をしています。5月は平日、1月は土曜に実施しています。また、合同保護者懇親会を年に1回実施しています。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	21	1	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・相談したことで必要なことは、担当に伝わっており、助かっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご要望に応じて職員だけでなく、専門職(公認心理師、言語聴覚士、理学療法士)との面談も調整しています。要望があれば、個別に相談を行える日程を調整致しますので、職員へお申し出ください。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子を連絡帳にて細目に報告をしてもらっている。 ・活動以外の様子についても報告をもらい、自宅での対応に役立ち、何より本人に気を向けてもらっていることが嬉しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登園時や降園時の引き継ぎ以外にも、連絡帳や交換ノートを活用し、お子さまの様子や困り感について、情報共有させていただいています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	20	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを拝見したことがなかったので、今後は拝見したいと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月トリアだよりを発行し、活動内容等について掲載しています。また、活動内容に関しては、落穂会のホームページにも定期的に掲載していますので、ご覧ください。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	23	0	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・話の内容が他の保護者に漏れやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の構造上、場所を変えての引き継ぎが難しい為、個別に相談されたい場合は職員へお申しつけください。時間を調整して、話をさせていただきます。 ・個人情報に関しては、写真掲載同意書にて保護者に同意を頂いていないものは、掲載していません。また、ホームページやトリアだよりに掲載する際は、保護者に再度確認を取り、掲載させていただいています。個人情報の取り扱いに関して、ご不明な点があればお知らせください。

非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	15	2	0	7	<ul style="list-style-type: none"> ・何かあった時にどうするか、迎え等の詳細を今は知っておきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練は、月1回実施しています。実施日は毎月発行のトリアだよりにてお知らせしています。避難訓練で取り組む内容(火災、地震、水害、防犯)についてもご案内できるよう努めます。 ・保護者向けのマニュアルを作成し、保護者の方々が閲覧できるよう玄関入口へ設置していますので、ご確認ください。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20	2	0	2		<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練は月1回、火災、地震、水害、防犯等、場面を想定した訓練を行っています。 ・年1回、消防士の立会いによる避難訓練を実施して、消防士より避難の際の助言をいただいています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	23	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもにとって、安心かつ意欲的な場所になっていることを本人を見て感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もお子さまが楽しく通所できるように、活動内容の工夫に努めていきたいと思えます。ご不明な点やご要望等がありましたら、職員へお知らせください。
	23	事業所の支援に満足しているか	20	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・職員がいつも丁寧に思いやりを持って子どもたちに接していることが何より幸せです。 ・引き継ぎの中で専門職(心理、言語、理学)の助言の話もしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、お子さまが安心して過ごし、健やかな成長を促すサービスが提供できるよう努めます。 ・専門職からの助言に関しても事前に相談したい内容を職員へお伝えして頂けたら、専門職へ伝え、助言を頂けるよう日程を調整致しますので、職員へお申し付けください。 ・事業所でのお子さまの様子についても知っていただけるよう、12月に療育参観を開催しています。また、見学については随時可能ですので、見学希望の際は、お知らせください。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目指している。